



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月8日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森広仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,900	30.4	△248	—	△251	—	△418	—
29年3月期第1四半期	1,457	△37.9	△407	—	△433	—	△434	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △443百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △517百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△33.67	—
29年3月期第1四半期	△34.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	12,110	3,251	26.8	261.81
29年3月期	12,477	3,695	29.6	297.55

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,251百万円 29年3月期 3,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	10.8	△140	—	△120	—	△300	—	△24.15
通期	14,000	26.1	910	129.2	920	132.3	750	123.9	60.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	12,969,000株	29年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	549,573株	29年3月期	549,573株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	12,419,427株	29年3月期1Q	12,420,454株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手できる情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(参考資料)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

過年度において不適切な会計処理が行われていたことが判明したため、過年度の決算訂正を行い、平成29年7月31日に、「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正第1四半期決算短信を提出しております。これにより、前年同四半期比及び前年同四半期数値につきましては、訂正後の数値をもとに記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、引続き政治的リスク、地政学的リスクが懸念されますが、欧米では内需の底堅さなどから景気回復が続いており、中国は各種政策の効果により景気は持ち直しの動きが見られ、新興国経済も総じて穏やかな回復傾向が続きました。一方、わが国経済も、個人消費は依然弱いものの、企業収益及び雇用環境の回復により、穏やかな回復基調で推移してまいりました。

当社グループの主たる供給先である半導体業界は需要の旺盛なフラッシュメモリを中心に設備投資が拡大し、また中国においては国の支援もあり半導体メーカーの設備投資が本格化してきております。一方、スマートフォン向けに関しては、一時的な在庫調整があり投資が先送り等で想定を下回りました。

こうした環境の中で、当社が開発したWLP(ウェハーレベルパッケージ)用コンプレッションモールド装置の「WCM-300L」はスマートフォン向けCPU等先端パッケージに加え、新たにメモリーにも採用されるなどその用途が拡大するとともに、多くの半導体メーカーより引合い、受注をいただいております。また、車載向け装置もセンサー、インバーター等用途が拡大するとともに、採用先も国内から欧州、アジアの車載半導体関連メーカーに拡大しております。また、当社グループはその他IoT及び自動運転分野など今後拡大が見込まれる先端市場に向け、当社の強みを活かし新たなマーケットを開拓するために新製品の開発を積極的に行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,900百万円(前年同四半期比30.4%増)、営業損失は248百万円(前年同四半期は営業損失407百万円)、経常損失は251百万円(前年同四半期は経常損失433百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は418百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失434百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①電子部品組立装置

電子部品組立装置の受注環境は、当社が強みとしているWLPを始めとする高機能向けスマートフォンのパッケージ向け装置に関しては、中国を中心にスマートフォンの在庫調整が発生したため、引合いは強いものの、投資が年度後半に先送りとなるケースが発生し、当初想定を下回りました。また、車載向けは堅調な推移となりました。一方、売上は検収基準を厳格化したこと等により、検収が間に合わない製品が発生し、想定を下回りました。

この結果、売上高は1,518百万円(前年同四半期比38.6%増)、セグメント損失は91百万円(前年同四半期はセグメント損失201百万円)となりました。

②電子部品

半導体等向けのリードフレームに関しては底打ちの傾向が見られたこと、また、前連結会計年度に実施したLPS(LEDプリモールド基板)事業の人員を含む生産体制の大幅な縮小により、損益が改善し、赤字幅が大幅に縮小いたしました。

この結果、売上高は292百万円(前年同四半期比11.8%増)、セグメント損失は18百万円(前年同四半期はセグメント損失69百万円)となりました。

③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム用生産金型の販売であります。リードフレームを使用する半導体の設備投資につきましてはマーケットが限られており、また、リード加工金型は当面の需要の一巡感もあることから低調に推移しました。

この結果、売上高は88百万円(前年同四半期比11.0%減)、セグメント利益は4百万円(前年同四半期比44.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、12,110百万円(前連結会計年度末は12,477百万円)となり、前連結会計年度末と比較して367百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少並びに売掛金の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、8,859百万円（前連結会計年度末は8,782百万円）となり、前連結会計年度末と比較して76百万円増加いたしました。これは主に、前受金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,251百万円（前連結会計年度末は3,695百万円）となり、前連結会計年度末と比較して443百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は26.8%（前連結会計年度末は29.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年7月31日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,592,015	2,130,925
受取手形及び売掛金	2,419,331	1,848,989
商品及び製品	2,419,909	2,553,832
仕掛品	1,946,005	2,300,224
原材料及び貯蔵品	186,014	264,839
その他	141,920	181,290
貸倒引当金	△510	△510
流動資産合計	9,704,687	9,279,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	801,977	781,907
機械装置及び運搬具(純額)	299,336	335,793
土地	484,534	484,534
その他	164,211	194,195
有形固定資産合計	1,750,059	1,796,430
無形固定資産	65,286	86,903
投資その他の資産		
その他	962,327	951,315
貸倒引当金	△4,436	△3,350
投資その他の資産合計	957,891	947,965
固定資産合計	2,773,237	2,831,300
資産合計	12,477,924	12,110,892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,412	1,982,930
短期借入金	2,934,000	2,900,000
1年内返済予定の長期借入金	173,410	168,340
未払法人税等	47,468	23,244
賞与引当金	114,086	60,592
製品保証引当金	48,272	61,852
前受金	1,371,486	1,788,368
その他	277,768	391,831
流動負債合計	7,279,904	7,377,159
固定負債		
長期借入金	637,100	597,200
退職給付に係る負債	702,048	696,623
その他	163,515	188,323
固定負債合計	1,502,663	1,482,147
負債合計	8,782,568	8,859,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	△1,734,381	△2,152,584
自己株式	△101,247	△101,247
株主資本合計	4,001,870	3,583,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,123	26,239
為替換算調整勘定	△311,678	△348,933
退職給付に係る調整累計額	△12,959	△9,387
その他の包括利益累計額合計	△306,514	△332,082
純資産合計	3,695,355	3,251,585
負債純資産合計	12,477,924	12,110,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,457,442	1,900,061
売上原価	1,321,147	1,579,387
売上総利益	136,295	320,673
販売費及び一般管理費	543,742	568,951
営業損失(△)	△407,447	△248,277
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,631	1,434
為替差益	—	691
受取技術料	2,863	6,842
受取賃貸料	8,920	3,266
その他	6,379	6,214
営業外収益合計	19,795	18,450
営業外費用		
支払利息	17,706	17,699
持分法による投資損失	11,829	2,442
為替差損	16,125	—
その他	417	1,185
営業外費用合計	46,079	21,327
経常損失(△)	△433,731	△251,155
特別利益		
固定資産売却益	—	5,601
特別利益合計	—	5,601
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	—	158,343
特別損失合計	—	158,343
税金等調整前四半期純損失(△)	△433,731	△403,897
法人税、住民税及び事業税	1,032	5,246
法人税等調整額	△323	9,058
法人税等合計	709	14,305
四半期純損失(△)	△434,441	△418,202
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△434,441	△418,202

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△434,441	△418,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,016	8,115
為替換算調整勘定	△46,945	△21,442
退職給付に係る調整額	2,506	3,572
持分法適用会社に対する持分相当額	△34,779	△15,812
その他の包括利益合計	△83,235	△25,567
四半期包括利益	△517,676	△443,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△517,676	△443,770

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他 (注)	
売上高				
外部顧客への売上高	1,096,262	261,975	99,204	1,457,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	1,582	78	1,664
計	1,096,267	263,557	99,282	1,459,107
セグメント利益又は損失(△)	△201,398	△69,602	3,058	△267,942

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△267,942
セグメント間取引高消去	—
全社費用(注)	△139,504
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△407,447

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他 (注)	
売上高				
外部顧客への売上高	1,518,976	292,765	88,319	1,900,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	748	461	1,219
計	1,518,985	293,514	88,780	1,901,280
セグメント利益又は損失(△)	△91,743	△18,606	4,404	△105,945

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△105,945
セグメント間取引高消去	—
全社費用(注)	△142,332
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△248,277

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(参考資料)

受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)の受注及び販売の実績は次のとおりです。

(1)受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	1,791,071	80.8	65.9
電子部品	313,121	14.1	114.7
その他	112,481	5.1	81.7
合計	2,216,674	100.0	70.8

(2)受注残実績

セグメントの名称	受注残高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	6,560,470	95.7	84.0
電子部品	134,629	2.0	167.8
その他	159,572	2.3	77.3
合計	6,854,673	100.0	84.6

(注) 当第1四半期連結期間の末日の受注残高

(3)販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	1,518,976	79.9	138.6
電子部品	292,765	15.4	111.8
その他	88,319	4.7	89.0
合計	1,900,061	100.0	130.4